

建設機械等の自動化・遠隔化技術により、迅速かつ的確な応急復旧を行う

【対策】102 無人化施工技術の安全性・生産性向上対策

対策概要：災害が激甚化する中、土砂崩落や広域浸水により人の立ち入りが困難な被災現場においては迅速かつ的確な応急復旧が求められ、また、建設工事そのものにおいても、生産性向上や働き方改革が求められる。近年の5G・AI等の急速な技術進展を踏まえ、建設機械の自動化・自律化・遠隔化技術の現場試行や適用性等の検証を通じて、更なる技術開発・改良を促進しつつ、導入機器類の仕様や関係基準類(安全、品質、積算等)を策定し、運用に必要な人材育成(研修・訓練等)を行うなど導入環境を整備し、早期の現場実装を図る。

府省庁名：国土交通省

【事例】建設機械等の自動化・遠隔化技術の現場実装

- 実施主体：国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)グループ
- 実施場所：—
- 事業概要：人の立ち入りが困難な被災現場での作業や高齢化・人口減少の影響による建設業の担い手不足に対応するため、建設機械等の自動化・遠隔化技術の導入・活用促進に向けた安全ルールや各種基準類の整備を実施している。現時点で、5G・AI等を用いた自律制御・走行技術を搭載したブルドーザ、振動ローラを直轄現場への導入実績あり。
- 事業費：—
(5か年加速化対策(加速化・深化分)6,400万円)
- 効果：建設機械等の自動化・遠隔化技術の導入・活用が促進され、被災現場の迅速かつ的確な応急復旧や、建設現場の飛躍的な生産性向上や働き方改革を実現する。



自動・遠隔施工のイメージ